キーボード、マウスの収納例

1. キーボード収納部の扉を開ける。
扉を開ける際は扉の左右に手を当て扉を挟むようにして手前に開いてください。

2. 棚板を引き出す。

ご注意 棚板を引き過ぎると棚板が棚板レールから脱落しますのでご注意ください。

3. キーボードとマウスを設置する。
使用しない時は棚板ごと内部に収納し、扉を閉めてください。

ご注意 キーボード、マウス以外は置かないでください。

リアカバーの取り付け

取り付けが終了したら、付属のリアカバーをネジで固定する(4カ所)。

機器、キーボード収納部について

機器収納部とキーボード収納部の扉には錠が付いています。誤操作によるシステム停止や機器の故障を防止するため、付属の鍵でロックしておくことをお勧めします。

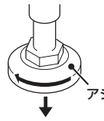
● 扉のロックと解除

- 機器収納部扉
反時計方向に回すとロックし、時計方向に回すと解除します。

- キーボード収納扉
反時計方向に回すとロックし、時計方向に回すと解除します。

移動・据え付けについて

本機はキャスターが付いているので自由に移動できます。移動する場合は、アジャスターベース部をフロア面から浮かして移動してください。



本機の据え付け場所が決まったら、必ずアジャスターの調整をしてください。
アジャスターベース部をフロア面に当たるまで、矢印方向に回してください。

お手入れについて

本機の寿命と性能の維持のため、定期的なお手入れをお勧めします。

■ 通気孔
本体通気孔は、１カ月に一度を目安に掃除機でほこりを吸い取ってください。
(このとき掃除機は「弱」に設定してください。)
ほこりをためたまま使用すると内部の温度が上昇し、故障や火災の原因となります。

仕 様

外形寸法	960 mm(幅)×1686 mm(高さ)×670 mm(奥行)
質量	94.3 kg
最大積載質量	
ディスプレイ取付部	78 kg
リア扉内上段棚	5 kg
リア扉内下段	15 kg

ご注意 フロント甲板部に物を置いたままにしないでください。

- 上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

© 2007 第一工業株式会社 禁無断転載

第一工業株式会社
〒438-0116 静岡県磐田市壱貫地153-1

このたびは、 第一工業の製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に、「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」は「保証書」と一緒に必ず保管してください。

「据付工事について」

- 本機は十分な技術・技能を有する専門業者が据え付けを行うことを前提に販売されているものです。据え付け、取り付け、取り外しは必ず工事専門業者または取扱店にご依頼ください。
- なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損傷に関しては、弊社は一切責任を負いません。

取扱店様・工事店様へ

この設置マニュアルは据え付け終了後お客様に必ずお渡しし、取り扱いの方法の説明を行ってください。

ご 注 意

(1) 本製品および本書の内容の一部または全部を、無断で他に転載することは禁止されています。
(2) 本製品および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本製品および本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどにお気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 本製品の運用した結果の影響については(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

図記号について
この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな図記号を使用しています。その記号と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。

⚠注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。

図記号の意味

△ 記号は注意(警告を含む)しなければならない内容です。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠ 記号は、やってはいけない(禁止)内容です。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

● 記号は、必ず行っていただく(強制)内容です。

⚠警告

●設置

本機は大型で質量があるので、ぐらついた台や傾いた所などを避け安定した場所に置いてください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
開梱や持ち運びは2人以上で行ってください。

組み立て・設置の手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めしてください。
指定を守らないとディスプレイ取り付け後に、破損や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

●使用方法

本機の上に花びん、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

本機の通気孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

⚠注意

●設置

直射日光が当たる場所、エアコン・ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。熱による変形や、内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となることがあります。

本機の上にものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本機を調理台や加湿器、エアコンの吹き出し口のそばなど高温・多湿になる場所、あるいは油煙およびほこりの多い場所には置かないでください。

たとえば、1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

●設置場所

設置場所にはスタンドとディスプレイの質量に十分耐えられる強度をもつ場所を選定してください。

必ず平坦で安定した場所に設置してください。

屋外や温泉、海辺などの水場には設置しないでください。

振動や衝撃の加わるような場所には設置しないでください。

●使用環境

周囲温度は10 ℃～35 ℃の範囲内でご使用ください。

●使用方法

音が歪んだ状態で長時間使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

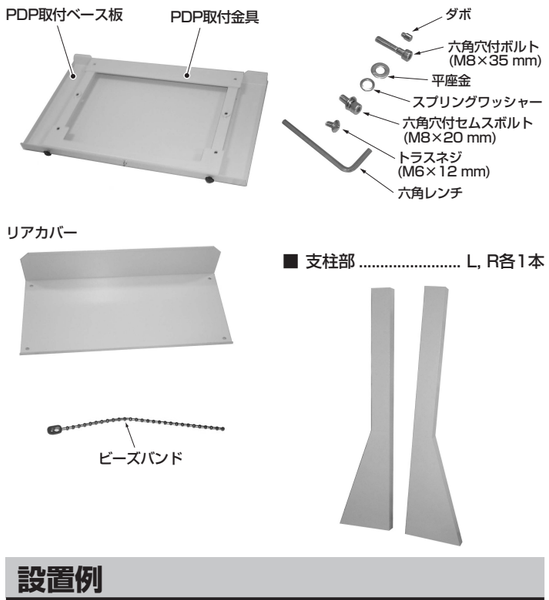
梱包品(付属品)の確認

ディスプレイスタンド　OV-11

■ 本体部 1台

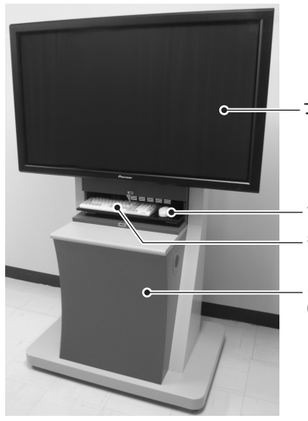
付属品

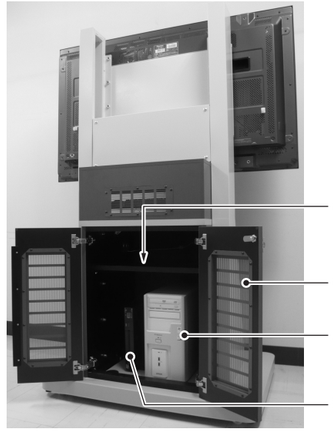
- PDP取付ベース板、PDP取付金具(セットされています) 1
- リアカバー 1
- ダボ(支柱取付ガイド用) 2
- 六角穴付ボルト(M8×35 mm)(支柱取付用) 8
- 平座金(支柱取付用) 8
- スプリングワッシャー(支柱取付用) 8
- 六角穴付セムスボルト(M8×20 mm)(PDP取付ベース板、PDP取付金具固定用) 8
- トラスネジ(M6×12 mm)(リアカバー取付用・4本/PDP取付金具上段取付用・2本) 6
- 六角レンチ 1
- ビーズバンド 5
- キーボード収納部用鍵 2
- 機器収納部用鍵 2
- 取扱説明書(本書) 1
- 保証書 1



■ 支柱部 ..... L, R各1本

設置例

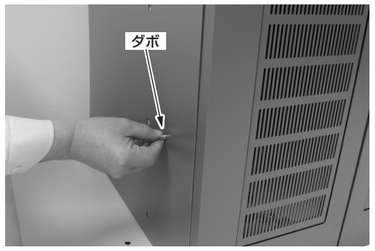




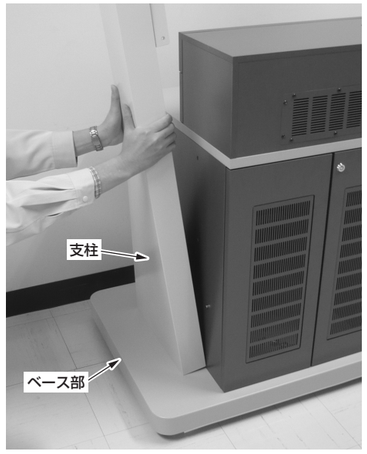
組立・配線・設置のしかた

ディスプレイスタンドの組み立て

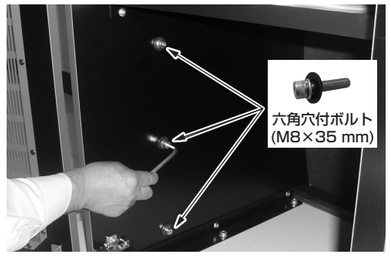
1. 付属のダボを機器収納部の左右のネジ穴に取り付ける。
支柱の取り付け用のガイドになります。



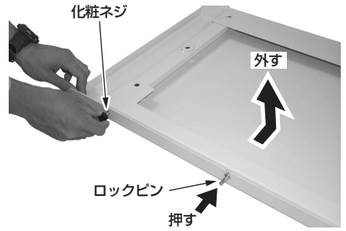
2. ダボをガイドにして、支柱(L、R)をベース部に差し込む。



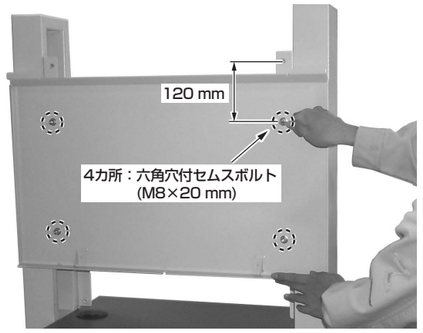
3. 機器収納部の内側から、平座金、スプリングワッシャー、ボルトの順に固定する(8カ所)。



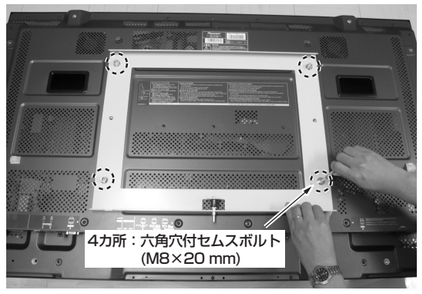
4. PDP取付ベース板とPDP取付金具を取り付けている化粧ネジを外し、中央のロックピンを押してベース板から取付金具を外す。



5. PDP取付ベース板を支柱部にボルトで固定する(4カ所)。
下段の穴を基準に取り付けます。
- ベース板の取り付け位置を変えると、プラズマディスプレイの取り付け位置が120 mm高くなります。

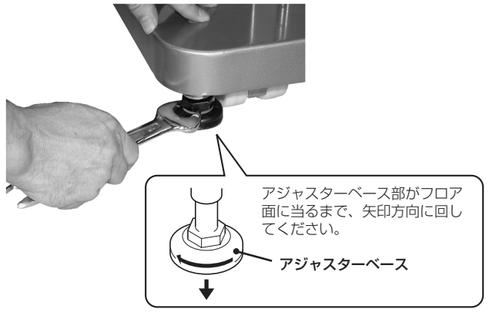


6. プラズマディスプレイとPDP取付金具をボルトで取り付ける(4カ所)。



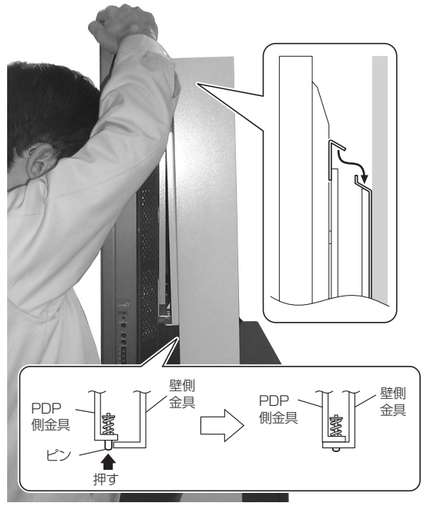
7. 本体のキャスターのアジャスターを時計方向に回して固定する(4カ所)。

ご注意 プラズマディスプレイを取り付けるときに筐体が動くのを防止するため、必ず行ってください。

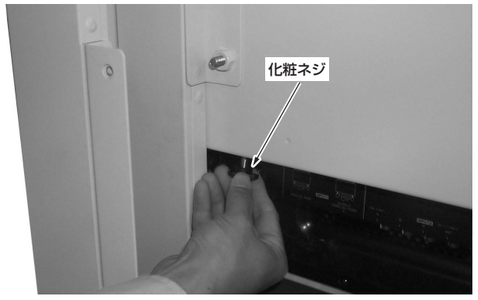


8. 本体部のベース板にプラズマディスプレイの金具のフックを引っ掛ける。
引っ掛けたままだと下側のピンがはまり込まないので、ピンを押してはめ込んでください。

ご注意 必ず2人以上で取り付けてください。

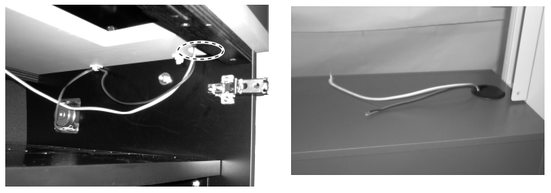


9. 手順4で外した化粧ネジで金具下側をネジ止めする(左右2カ所)。
上段にプラズマディスプレイを設置した場合は、化粧ネジの代わりに付属のトラスネジをご使用ください。



スピーカーコードの接続

1. 機器収納内部のスピーカーコードを、収納内部の右後方のコード引き出し穴から引き出す。



2. スピーカーコードをプラズマディスプレイのスピーカーの出力端子に接続する。
- スピーカーコード(赤白) .....R側
- スピーカーコード(赤黒) ..... L側